



「福澤育林友の会」ニュース

第38号 発行日2020年8月1日

福澤育林友の会
東京都港区三田2-15-45 慶應義塾 管財部
TEL: 03-5427-1050 FAX: 03-5427-1190
<http://ikurin.jp/>



「森の役割と感染症」

福澤育林友の会

会長 渡部 直樹

(慶應義塾常任理事)



2020 年に入ってから新型コロナウイルス感染症が、日本全国に感染拡大しています。政府によって4月に緊急事態宣言が出され、5月には解除されたものの、未だ感染拡大は十分に抑制出来ていない状況です。残念ながら、育林友の会の本年度の行事も全て中止となりました。会員の皆様も、不自由な生活を送られていらっしゃるかと存じます。

現在「森林破壊が感染症発生のきっかけとなる」ことが指摘されています。自然破壊によって、危険な病原体を持つ野生生物が行き場を失い、人間に接触するようになり、感染症が広がったという見方です。

確かに、ヨーロッパで14世紀を中心に7000万人もの犠牲者を出したペストの流行は、農地の拡大のため森林が伐採され、これにより森の自然の食物連鎖が破壊され、ペスト病原体の宿主であるノミを持った野鼠の大量発生が起こり、これが森の境界を越えて人間に病原体を感染させたと言われています。現代でも、アフリカやアジアでも同じメカニズムで、エボラ出血熱やSARSが発生していることが指摘されています。今回の新型コロナ(covid-19)が、どのような感染経路をとったのか専門家の中でも不明なようですが、自然の破壊が関係している可能性はあるとされています。

古来、日本人は森を畏怖すると同時に、自分たちを守る(鎮守)ものとして大切にしてきました。民俗学者の柳田國男は「我々が神として斎くものは、根源の思想に遡っていへば……其土地夫自身、其土地の上に繁茂する森夫自身である」と述べています。私は民俗学の知識は全くありませんが、人は森について、人知の及ばぬ怖いものだが、同時に色々な害から私たちを守ってくれる存在とみなしていたのでは、と考えています。

21世紀に至り、古来の森と人間との関わりはすっかり変わってしまいました。しかし、森の恵みを享受しようとする際、私たちの活動がどのような意図せざる結果を齎すかを考えた上で、エコロジカルなバランスを取るかが肝要と思われます。

新型コロナウイルスが抑制され、皆様とご一緒に森と触れ合うことが1日でも早く実現されますよう願っております。

2020 年度 福澤育林友の会の事業内容について

今年の初め、国内で新型コロナウイルスが発生し、感染防止に必要な協力や要請が全国的に出されておりますが、未だ収束の兆しが見えない状況に陥っております。

4月7日に東京を始めとする7都府県で緊急事態宣言が行われ、翌週16日には対象が全国へ拡大されました。約1か月後の5月14日には感染者数が減少傾向となり、首都圏8都道府県を除いた39県で緊急事態宣言が解除され、5月25日には全国で解除となりました。

感染拡大も収まってきたように思えた5月でしたが、既に企画していた「森を愛する人々の集い」につきましては、準備期間が緊急事態宣言中にあったため、残念ながら断念せざるを得ない状況となりました。

また、例年9月に予定している研修旅行につきましても、6月頃から準備に入りますが、感染拡大に危惧する日々が変わりなく、参加者の安全を考慮すると、中止にせざるを得ない状況となりました。

会員の皆さまには、常々格別のご理解とご協力をいただき深く感謝しております。今後の予定につきましては、福澤育林友の会ホームページ(<http://ikurin.jp/>)にて、ご案内させていただきますのでご参照下さいますようお願い致します。

尚、事務局のある慶應義塾三田キャンパスは閉鎖中となっておりますため、ご連絡等につきましてはメール(f-ikurin@adst.keio.ac.jp)にてご対応させていただいております。予めご了承下さい。

今年の夏は新型コロナウイルス感染症への警戒に加え、熱中症対策にも注意が必要となります。会員の皆さまにはご自愛いただき、今後とも引き続きご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

2019 年度 福澤育林友の会 会計報告

会員：164名（2020年4月1日現在）

2019 年度	収 入	支 出	摘 要	
前年度繰越金	5,160,430			
会費	1,285,000		2019 年度会費(147 名分)	会費の口座振替について 2020 年度会費の口座振替予定日は 2020 年 9 月 23 日(水)を予定しています。
事業参加費	784,840		シンポジウム・研修旅行	
利息	47		普通預金利息	
寄附		1,000,000	慶應義塾へ寄附	
通信費		70,927	ニュース・案内等発送通信費	
事業経費		1,054,209	シンポジウム・研修旅行	
手数料		18,241	会費引落サービス手数料	
当年度収支	2,069,887	2,143,377		
次年度繰越金	5,086,940			

【慶應義塾への寄附】

本会会則の目的にある「慶應義塾の学校林の保育に関する支援を行う。」こととして、年度末に残余金の一部を慶應義塾へ寄附しました。寄附から支出した事業・内容については、慶應義塾から連絡を受けて、後日ご報告予定です。